

NPO 法人はーぐる

住所：福島県福島市野田町5丁目10-27

電話：090-3955-6855（小林さやか代表）

HP：<https://hearggle.wixsite.com/hearggle>

Y E L L

Vol.
25

妊娠に関する 相談窓口開設

「生理が遅れている」「妊娠したかも」。そんな悩みや不安を抱える若者たちから、24時間・365日、SNSによる相談を受け付けている団体が福島市にあります。2020年に設立し、「妊娠に関する相談窓口」を運営するNPO法人「はーぐる」です。代表の小林さやかさん（社会福祉士）は、大学卒業後17年間学習塾に勤務して若者と接してきました。産婦人科医、助産師、保健師、看護師、社会福祉士などの専門職も参加し、相談のほかに、性と生に関する教育、命の教育などの出張授業、講演会、学習会を通して、自分自身を含めた命と健康、人権を大切にするための教育・情報普及活動を展開しています。





高校生を対象にした授業

大切な子供の命を守る 相談者に寄り添い続ける

高校生や若者を対象にした講演会や授業で、小林さんが説明を始めました。

「みなさんには自分で人生を選択する権利があります。でも、それをできなくしてしまう出来事があります。それが、予期せぬ妊娠や望まない妊娠です。本来、祝福されるはずの妊娠ですが、タイミングや相手によって、真逆の状況になってしまいます。私たち『はーぐる』は、妊娠や性に関して悩む人を一人でも減らしたいと相談事業や、今日のような学習の機会を提供しています。」

小林さんが「はーぐる」を立ち上げようと決めたのは、ある出来事がきっかけでした。それは、児童虐待に関するグラフを見たことでした。そのグラフには、児童の虐待死が年間30人、そのうち0歳0日での虐待死が10人にものぼっていることが示されていました。

当時、妊活をしていた小林さんは「生まれたばかりの命が虐待で失われてしまうとは大変なこと。この状況をなんとかしたい」と痛切に思いました。若い人が自らの手で生まれたばかりの我が子を虐待死させなければならぬ状況の背景に、望まない妊娠や性の問題があります。問題

に対処できず、解決策も知らず、悩んだまま虐待してしまう。

それを1件でも減らすことが急務でした。そこで、若い人が活用しているSNS（ソーシャルメディア）での匿名での24時間相談事業と、小学生から二十代ぐらいまでの若者を対象とした講演会や学習会の開催を中心とした「はーぐる」を始めました。名称「はーぐる」は、「ハート（心）」と「スナグル（英語で、寄り添うの意）」を合わせた造語で、活動の中でも一貫して、「あなたは一人ではありません」不安があったら、何でもいつでも気軽に相談して」と伝え、相談者に寄り添い続けていきます。



スライドも活用して説明

クイズを交えた授業

高校生や若者を対象とした授業で、小林さんは、こう話しかけます。

「みんなが自分らしく生きられるように、そしてみんなが生きたい人生を生きられるように、命や性、妊娠についての正しい知識が必要です。わかりやすい言葉を使い、ポイントとなるところではクイズを交えて、具体的な説明が続きます。」

3歳児〜小学生を対象とした授業では、「自分の体は全部大事だけど、特別に大事な場所は口、胸、性器、お尻などで、他の人に見せたり、無理やり触られたりしてはいけない場所です」と、「プライベートパーツ」について具体的な図を見せながら話します。

また、「体をくすぐるコチヨコチヨや、指を肛門に入れるカンチヨ、スカートめくり、ズボン下げなどは、遊びでもやってはいけません。もしもやられた時には逃げる、そして身近な大人にすぐ相談してください」と具体的な対応をわかりやすく話しました。

また、高校生以上の授業では、「妊娠に気づくのは早くて5週目。7週目になれば超音波で赤ちゃんの形が見えるようになります。望まない妊娠の場合、仕事や学校をあきらめなければならぬというこ

とが起きたり、あるいは中絶を選択することもあると思います。中絶は女性の権利ですが、赤ちゃんの命が失われたというところで、心身ともにダメージが多く、たくさん相談が寄せられています。望まない出産などで学校や仕事を諦める人もいます。皆さんにはそうした思いはしてほしくありません。子供が産める、育てられる年齢や、パートナーや状況の中で、妊娠・出産を経験してほしいです」と小林さんは語りかけます。

そして、具体的に相談を受け付け、回答しながら、正しい避妊の種類と方法、避妊に関する誤った情報、パートナーとの関係性や性的な同意、性感染症の現実と予防などを説明していきます。指を性器に見立ててコンドームを装着する実演や体験実習などもあります。

保護者や教員など、大人を対象とした講座では、子どもから性について聞かれたときの対応、落ち着く↓答える↓答えられない時は「調べてから話すね」を具体的に説明し、質問する子どもの役と答える親の役をロールプレイ(役割演技)でやってみる時間もあります。また、子どもにわかりやすく伝えてくれる絵本も紹介します。

小林さんは、「性に関する正しい知識や情報を伝えることのみが性教育ではなく、

関わり方そのものが性教育です。そして性教育は赤ちゃんのうちから始まっています。両親は、おむつ交換、遊びなど、さまざまな機会に赤ちゃんに声を掛けてあげて。親と子は支配する関係ではなく、対等な関係を築いてほしいですね。支配する関係に慣れてしまうと、その支配をイヤと言わなくなってしまい、暴力や虐待などにつながる恐れがあります」と話します。

匿名でも安心して相談可能

「はーぐる」にはこの3年で合計2300件、毎月5〜6件の相談が寄せられており、その内容は多様で、ほぼ全てが匿名です。

年齢別では、中学生3.8%、高校生22.3%、19歳から30歳が18.5%、30歳以上が2.5%、そして年齢不明が52.2%。性別では女性約8割、男性約2割。妊娠相談で最も多いのは①妊娠しているでしょうか②妊娠してしまった③避妊に失敗した、避妊してもらえなかった④避妊に失敗した、避妊してもらえなかった。高校生の若年者の多くが、親に相談するかどうか迷っているといえます。中には40代の女性から、「予期せぬ妊娠をして経済力、体力に不安があり、

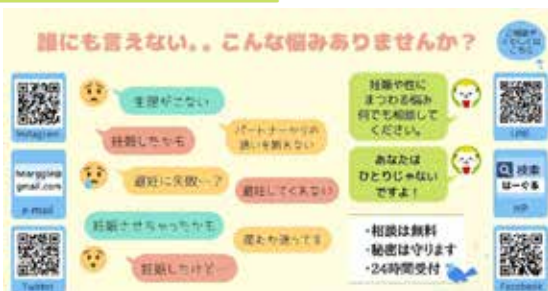
産むかどうか迷っている」という相談もあります。

相談後のサポートも行っており、病院などへの同行支援、シングルマザーでの出産の際はそのサポート、未成年者の中絶手術では保護者の同意が必要なため保護者への説明の仕方、里親・特別養子縁組制度の相談、体調不良や不安の相談なども行っています。

参加者は「誰にも相談できなかったのでも、聞いてもらえてよかった」「SNSで匿名相談ができる『はーぐる』の窓口を知ることができてよかった」などの声が寄せられています。

「こうした声を聞くたびに、この活動を続けてきて本当によかったと思います」と、小林さんは話します。

①SNSでの妊娠相談



寄られるさまざまな相談

ますます高まる 活動の重要性

このように、相談が急増している一方で、学校での性教育はどうなっているのでしょうか。現在の四十代、五十代の人たちは小中高校で、男女の体の変化や第二次性徴期、妊娠、出産などの性教育を受けましたが、実は1998年から学校指導要領に「妊娠の経過は取り扱わない」という、いわゆる「はじめ規定」が設けられ、性教育の内容には妊娠に関する内容は除外されてしまいました。

その背景には、「わざわざ学校で教える必要はない」「寝た子を起すな(知識のない子どもに教えれば性の問題が加速する)」などの議論がありました。しかし現実には、スマートフォンやインターネットの普及で、性に関する情報はあふれており、若年者の望まない妊娠やそれに伴う中絶、性に関するトラブルが全国的に増えています。



イベントではグッズも活用して啓発

この対策として全国的に有名なのが、秋田県の取り組みです。2000年から正しい知識により望まない妊娠を防ぐと性教育講座を開始したところ、実際に中絶件数が減りました。しかし、残念ながら福島県ではこうした取り組みは行われておらず、NPOとして活動する「はーぐる」の活動の重要性が増しています。

「はーぐる」の幼稚園児、小中学生、高校生、大人など、それぞれの年代別講座や実習のプログラムは、国際的に広く活用されている「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」などの「包括的性教育」も取り入れられ、専門家・アドバイザーらの協力で作成されています。

「緊急性が高い状況なのに、突然返信がなくなってしまうたり、同行支援で病院や保健センターに行く際に待ち合わせ場所にこなかったりという人もいます。個人情報は完全に守られますので、相談をして」と小林さんは呼びかけています。



アダルトヤングから20代対象の講座も

赤ちゃんはどこからくるの？

性教育出張講座
承ります
NPO法人
はーぐる

SNSからの相談も24時間365日受け付けています！



採用と教育研究所

saiyo to kyouiku kenkyujo

志ある中小企業経営者の応援団として「採用から共育」まで一貫した支援サービスを行っている。これまで数多くの社員、職員の採用・人財育成・職場定着等に携わり、CSR(社会貢献活動)を活用した「いい会社創り」のサポーターとして定評がある。



YELL

Vol. 25

2024年1月11日

発行：採用と教育研究所
〒960-8055
福島県福島市野田町 6-7-8
電話 024-529-5153
info@saiyoutokyouiku.com

